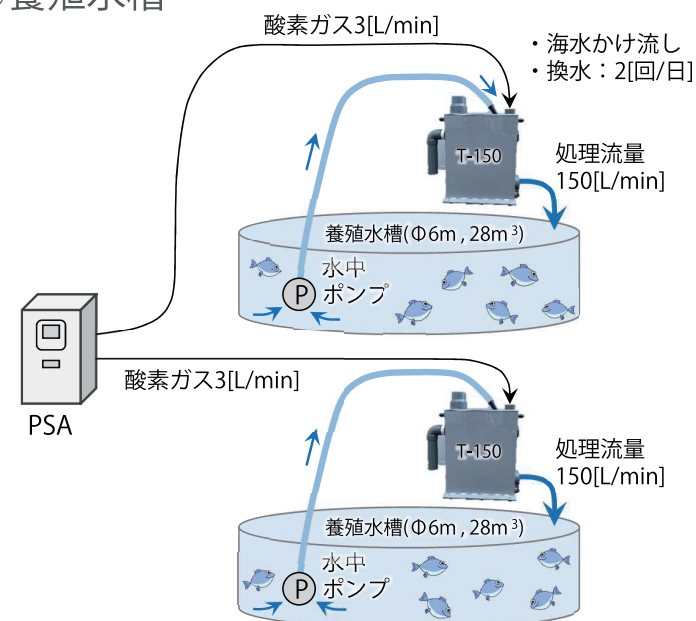


事例紹介 Case Studies

① 養殖水槽



T-150とPSAの組み合わせ運転により、
養殖水槽内のDO濃度を常に120~210
[%]の過飽和に保っています。

② 生物ろ過槽



T-150の大気空気運転により、養殖水槽
内の海水がほぼ飽和値のDO濃度で生物
ろ過槽に供給されています。
養殖水槽からはアンモニアの検出はありま
せん。

UBE KOGYO **たしかな技術で未来をひらく**
宇部工業株式会社
建設部

〒759-0295 山口県宇部市大字妻崎開作874番地の1
TEL 0836-41-8448 FAX 0836-41-3144

URL <https://www.ubekogyo.co.jp>
E-mail oogi-kyou@ubekogyo.co.jp

O₂

シンプルで低コストな
液膜式酸素溶解

**AQUA
RECOVERY**
アクアリカバリー

突入型高速酸素溶解装置

養殖設備に

酸素

たりてますか？

UBE KOGYO **たしかな技術で未来をひらく**
宇部工業株式会社

AQUA RECOVERY

アクアリカバリー

突入型高速酸素溶解装置

AQUA RECOVERY

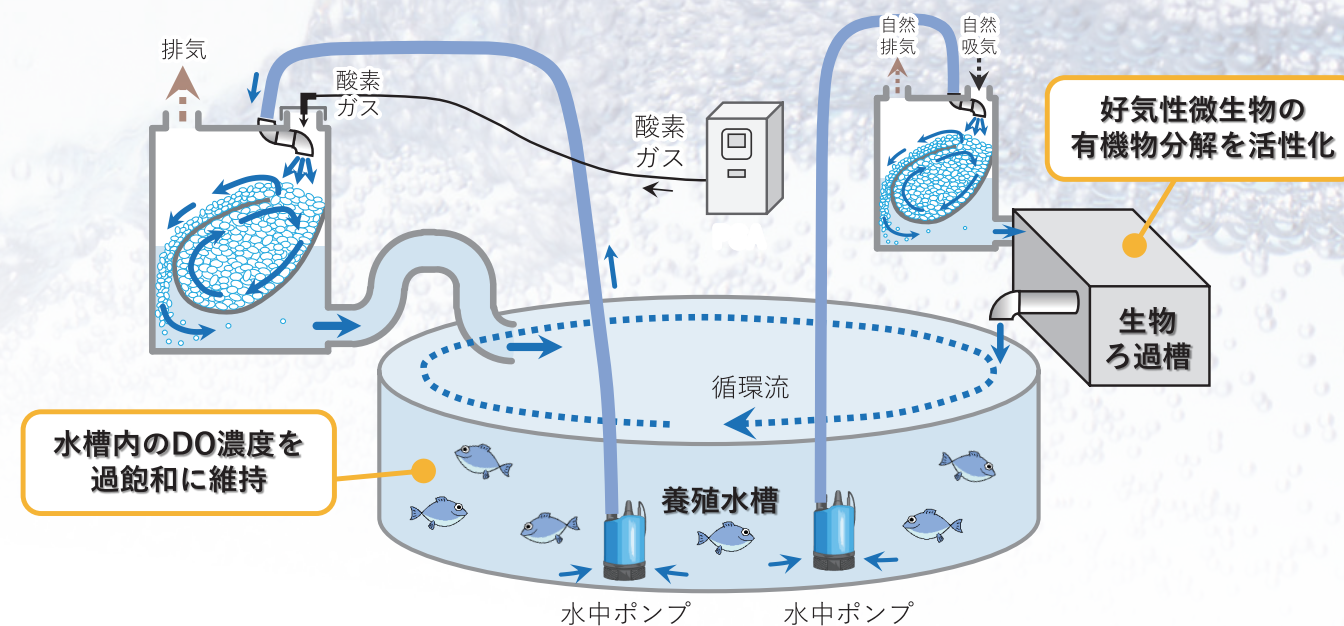
突入型高速酸素溶解装置
(特許取得済)

型式	T-60	T-150	T-600
稼働電力	400W (水中ポンプ)	750W (水中ポンプ)	2.2kw (水中ポンプ)
処理流量	60~65L/min ≒90t/day	130~150L/min ≒200t/day	600~650L/min ≒900t/day
酸素溶解能力	大気空気利用の場合 ワンパスで飽和度0%→75~90%		

養殖水槽、生物ろ過槽に 高速酸素溶解システム

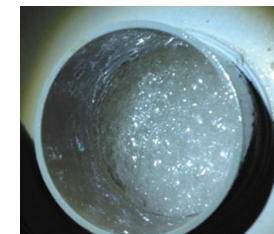


運転のイメージ図



追加機能【プロテインスキマー】

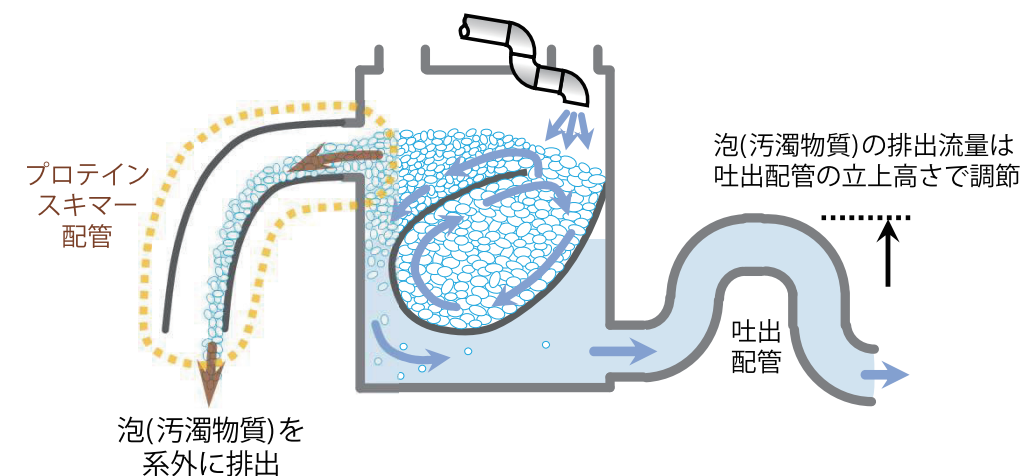
運転中に箱体の排気口から泡が溢れたり、箱体内部が泡で充満している場合は、処理対象水に有機物等による汚濁物質(例えば、プロテイン(タンパク質)等)が多く含まれている可能性があります。



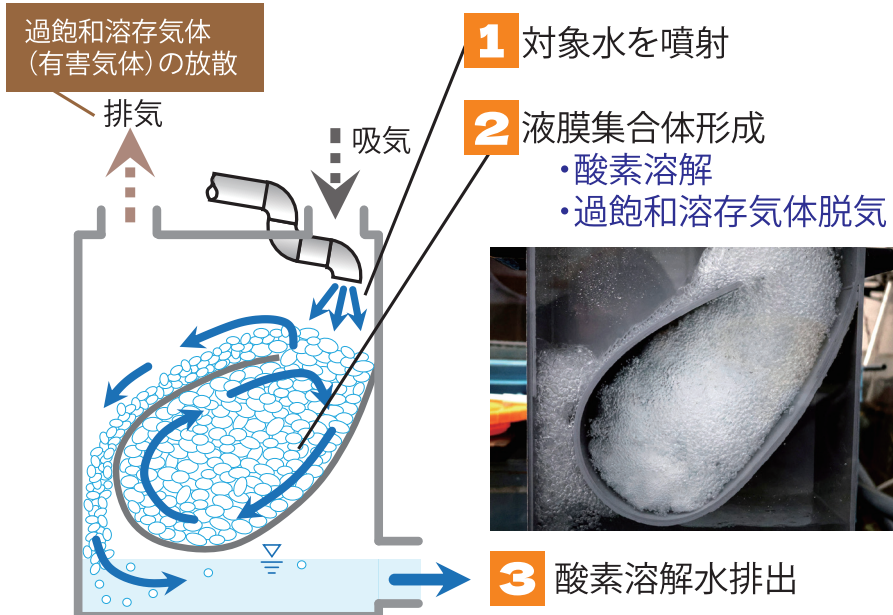
そのような場合は

箱体の開口部を利用してプロテインスキマー機能を付加！

泡(汚濁物質)を系外に排出することにより養殖水槽の水質の向上が期待できます。

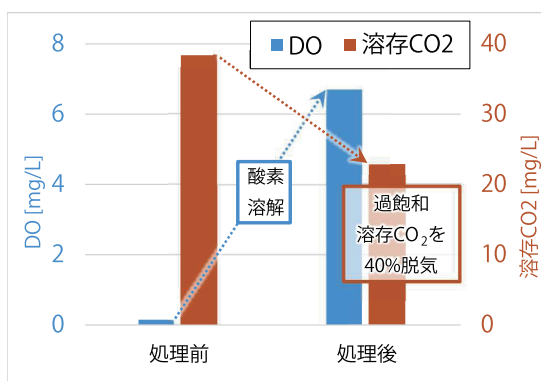


PSA(酸素発生装置)・酸素ポンベとの組合せで能力UP



ガス交換、すなわち・・・
過飽和溶存気体の脱気
酸素溶解
同時にすみやかに達成！

ワンパス処理前後のガス交換性能試験結果



循環式(RAS)陸上養殖で問題となる 過飽和溶存炭酸ガス対策に！

ワンパス処理後にDO濃度が増加していることはもとより、
過飽和に溶存しているCO₂の40%が脱気されています。

試験条件:
対象水: 合流式下水処理場 曝気槽内水
水温: 18.6℃
装置型式: T-600
計測方法:
・DO濃度: ポータブルDO計による現地計測
・溶存CO₂濃度: ヘッドスペース法を用いたGC-MS分析法

機器構成の試算・提案

機器構成の提案の際には、お客様の養殖施設の場合に養殖水槽内のDO濃度がバランスする数値を数値計算によって試算します。
お気軽にお問合せください。

計算方法: 曝気装置の理論式、酸素消費速度、再曝気等を考慮した繰り返し計算法

